

学校を核とした『共学共創コミュニティ(GIAHS Co-Learning Community)』の形成

【研究開発の背景】

Global（2014～ スーパーグローバルハイスクール事業）

○研究開発の概要： 中山間地域に位置する本校でグローバル・リーダー育成に向けた教育を展開するために、本校の特徴（6カ年教育カリキュラムの編成、探究活動の実践、全寮制教育など）と、国際社会に散在する課題が山積みされた中山間地域の強みを活かして、国内外の関係機関と連携を図りながら課題研究を軸とした研究開発を行う。

○SGH事業の成果： 社会実践を伴った課題研究活動の展開、探究的な学びを生み出す6カ年教育カリキュラムの開発、海外フィールドワークの実施 など

【令和元年度 研究開発の目標】

共学共創コミュニティの形成と環境整備

重点項目(1) 総合的な探究の時間の実施

- 6カ年カリキュラムの効果的な接続（3年：マイプロジェクト、4年：問いの探究）
- GIAHSをテーマにした地域課題研究
- 評価（形成的アセスメント）の開発

重点項目(2) コンソーシアム構成員との

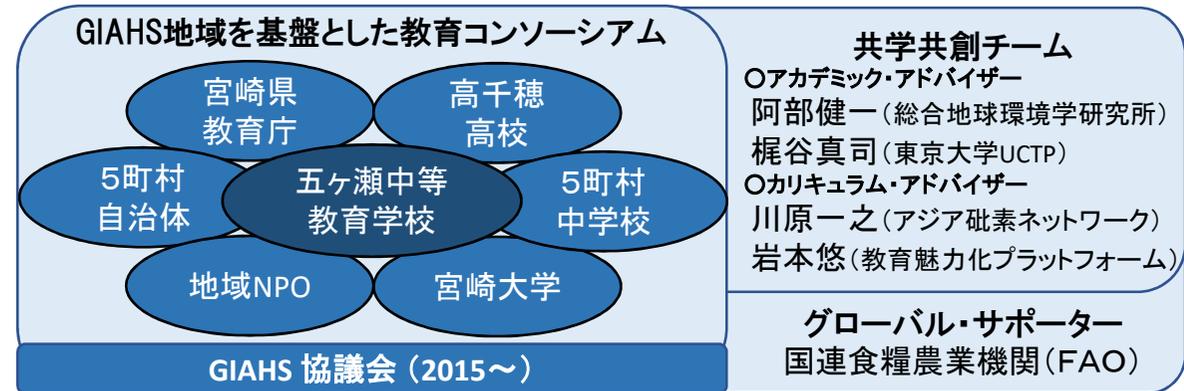
協働的な学びの実践

- GIAHSスタディツアー・シンポジウム
- 五ヶ瀬町・政策提案コンテスト（総務省・関係人口創出拡大事業と接続）

重点項目(3) 海外フィールドワークの実施

- フィリピン・イフガオ州での研修実施（コンソーシアム支援、連携校の生徒参加）
- アジア高校生架け橋PJの受入準備

【研究開発の実施体制】



【令和元年度 成果と課題】

☆成果

- ・6カ年カリキュラムの確立（総合探究）
- ・コンソーシアムの拡がり（協働的な学び）
- ・「学びの土壌」の客観的評価 ※右表参照

★課題

- ・自走的な仕組み（組織体制・人財育成）
- ・「資質・能力」の形成的評価

高校魅力化評価システムより抜粋

学習活動の機会	本校	他地域
主体性に係る機会	85.1%	46.4%
協働性に係る機会	92.5%	70.0%
探究性に係る機会	90.3%	60.1%
社会性に係る機会	92.5%	43.6%

各項目の設定で「あてはまる」と回答した生徒の割合 ※他地域とは事業指定校を指す

Local（1986～フォレストピア構想, 2015～ 世界農業遺産認定）

○フォレストピア構想： 県北5町村による「フォレストピア圏域」において、森林が持つ様々な機能と山村固有の伝統的な生活文化を活かし、人間性回復の森林づくりを目指すもの。五ヶ瀬町は「学びの森」に指定され、本校はその拠点校として位置づけられている。

○世界農業遺産 GIAHS：社会や環境に適応しながら時代を通して継承されてきた独自性のある農林業と、それに密接に関わって育まれた人々の暮らしや文化を含む「山間地農林業複合システム」について、国連食糧農業機関によって認定されたもの。